



3月11日、24日 村内小中学校で卒業式 思い出の詰まった学び舎をあとに

村内小中学校で卒業式が行われました。昭和中学校では11日、69人の生徒が卒業しました。式では、在校生を代表し武井美緒さん(2年生)が感謝の思いを込めて送辞。卒業生を代表して石澤みゆうさんが「コロナ禍による困難の中でも負けずに、中学校生活を送れることを学び知った3年間でした」と答辞を述べました。

また、各小学校では24日に卒業式が行われ、63人が思い出の詰まった学び舎をあとにしました。卒業式では、各校ともに発声時のマスク着用や手指の消毒など、十分な感染症対策をとって開催されました。



卒業証書を授与される卒業生(昭和中学校)



会場に入場(左)、卒業証書を授与される(右、南小学校)



答辞を述べる石澤さん(左)、会場を後にする卒業生(昭和中学校)



3月31日 皆勤賞(小学校・中学校・高校) 飯塚さん、中村さんが12カ年皆勤

飯塚哲章さん(大河原/渋川高校)と、中村陽加里さん(常木/利根商業高校)の2人が卒業し、小学校・中学校・高校の通算12年間で無遅刻無欠席の皆勤賞を達成しました。

教員を目指して大学に進学する飯塚さんは「友達に支えられ、毎日会えることが楽しみだった」と話しました。また、医療事務を目標に短大に進学する中村さんは「皆勤のきっかけは親の支えだったが、だんだん自己管理ができるようになった」と話していました。



12年皆勤を達成した飯塚さん(左)と中村さん



3月24日 自衛隊入隊予定者激励会 中川ひかるさんの入隊を激励

村、家族会による自衛隊入隊予定者激励会が役場会議室で開かれ、入隊予定の中川ひかるさん(常木)が母の百合さんとともに出席しました。

激励会では、昭和村自衛隊家族会を代表して吉野道夫会長と堤村長のほか、自衛隊群馬地方協力本部長(安永琢哉氏)にも出席いただき、中川さんに激励の言葉が贈られました。中川さんは「1年越しでかなえた夢。災害派遣などで、人を笑顔にしたり、安心を与えられるような仕事をしたい」と話していました。



激励会で決意を述べる中川さん



3月8日 第一保育園・第二保育園・子育保育園 園児たちに昭和中生から法被のプレゼント



肩の部分には中学生からのメッセージカードが(第一保育園)



かっこいい、楽しいと袖を通した園児たち(第二保育園)



感謝の気持ちを伝える園児たち(子育保育園)

第一保育園と第二保育園、子育保育園の年長児たちに手作りの法被がプレゼントされ、袖を通した園児たちは喜びました。この法被は、昭和中学校3年生70人が家庭科の授業で、村の使われていない大人用の浴衣の生地を活用し、園児のためにリメイクしたものです。

中学生の学習指導要領では「日本の伝統的な衣服である和服にふれること」とされており、3年生は法被の制作を通じてこれを学びました。法被を制作した横浜大翔君は「園児の皆さんがこの法被を着られなくなるくらい大きく元気に育って」と話していました。

4月1日 昭和村教育委員会 新教育長に小野和好氏

村は、議会の同意を得て、任期満了により退任した堤義樹氏(森下中)の後任として、小野和好氏(吹張)を教育長に任命しました。教育長の任期は3年。教育委員会における事務の責任者であり、教育委員会を代表します。

小野教育長は「堤村長をはじめ関係各位の協力をいただきながら、学校教育、社会教育の充実発展に誠実に努めていきたいと思っております」と就任にあたっての抱負を述べました。



教育長に就任した小野氏

3月31日 昭和村教育委員会 堤義樹教育長が任期満了で退任

平成31年から3年間にわたり村の教育行政に貢献された堤義樹教育長が、任期満了により退任されました。

堤教育長は、コロナ禍における学校の新しい生活様式への対応や、GIGAスクール構想の早期実現、学校の在り方検討委員会の運営など、激動する村の教育現場の安定運営に尽力されました。堤教育長は退任にあたり「役場や教育委員会、学校関係の皆さんのおかげで3年間務めることができ、感謝の気持ちでいっぱいです」と思いを述べました。



役場で退任あいさつする堤教育長

3月18日 第二保育園 ひゅーどんどんが園児と交流

ウインターフェスティバルのマスコットキャラクター「ひゅーどんどん」が第二保育園に来園し、園児たちと交流しました。園児たちは、突然の来訪に大喜び。楽しいひと時を過ごしていました。



園児とふれあうひゅーどんどん(第二保育園)

3月26日 スポーツ少年団・昭和剣道 村を離れるロス先生が剣道2段に

A L Tで、昭和剣道スポーツ少年団で剣道を学んでいるロス先生が剣道2段に昇段しました。また、ロス先生が昭和村を離れることから、剣道教室ではお別れ会が開かれ、記念品が贈られました。



剣道2段に昇段したA L Tのロス先生

3月30日 貝野瀬・発願碑など修復 疫病収束への思い新たに

貝野瀬緑水を守る会(林勝美会長)は、池原地区にある明治8年建立の発願碑周辺の修復完了と、事業案内板の完成を祝いました。発願碑は、当時流行した疫病の終息を願い住民有志40数名により建立されました。



先人への思いを新たにした参加者と発願碑

3月17日 大河原小学校6年 ドローン制御でプログラミング学ぶ

大河原小学校6年生(萩原真志教諭)の総合的な学習で、プログラミングによるドローンの制御を学びました。授業を受けた角田翠さんは「プログラムのとおりにドローンが動いて楽しかった」と話していました。



制御しているドローンの動きを確認

3月22日 村公民館英会話サロン ジョー先生が村で最後のレッスン

令和3年度の最後の英会話サロンが公民館で開かれました。講師を務めるA L Tのジョー先生が村を離れることから、レッスンテーマ「さよならの伝え方」を学ぶとともに、最後の授業はお別れ会となりました。



村を離れるA L Tのジョー先生

3月26日 村内3保育園卒園式 思い出いっぱいの保育園に別れ

村内各保育園で卒園式が行われました。第一保育園では、一人ひとり保育証書を手渡された園児たちが、小学校での目標を発表し、思い出いっぱいの保育園に別れを告げました。



保育証書を堂々と掲げる卒園児